

平成22年度事業報告書

・事業の状況

1. 会議に関する事項

(1) 定期総会

- ・平成22年 6月13日(日) 鳥取県鳥取市 とりぎん文化会館において開催
- ・平成23年 2月10日(木) 東京都台東区 台東区生涯学習センターにおいて開催

(2) 定例理事会

- ・平成22年 6月12日(土) 鳥取県鳥取市 ホテルモナーク鳥取において開催
- ・平成22年12月10日(金) 大阪市北区 ホテルコムズ大阪において開催
- ・平成23年 2月10日(木) 東京都台東区 台東区生涯学習センターにおいて開催

(3) 東西常任幹事会

- ・平成22年 6月13日(日) 鳥取県鳥取市 とりぎん文化会館において開催
- ・平成22年12月10日(金) 大阪市北区 ホテルコムズ大阪において開催
- ・平成23年 2月10日(木) 東京都台東区 台東区生涯学習センターにおいて開催

(4) 月例常任幹事会

- ・大阪事務所 8回開催(1回は熊本県・熊本交通センターホテルにおいて開催)
- ・東京事務所 7回開催(1回は宮城県・仙台国際センターにおいて開催)

(5) 常務理事会

- ・平成22年12月10日(金) 大阪市北区 ホテルコムズ大阪において開催

2. 事業に関する事項

(1) 第34回全日本川柳2010年鳥取大会の開催

イ. 日 時 成22年 6月13日(日)

ロ. 場 所 鳥取県鳥取市尚徳町101-5・とりぎん文化会館

ハ. 参加者 事前投句者(一般) 2,000名

事前投句者(シニア) 4,861名

当日参加者(一般) 567名

ニ. 大会選者 堀井勉・小椋忠雄・菅原孝之助・川上大輪

植木利衛・弘兼秀子・八木柳雀・藤原鬼桜・松代天鬼・小金沢綾子

大野風柳・本田智彦・赤井花城・安藤紀楽・住田英比古

ホ. 一般の部 受賞句(各題秀句3句 計21句の中より選考)

文部科学大臣賞

木簡のここにも税の文字がある 東京 河合 成近

参議院議長賞

平均台今日を渡っているような 滋賀 今井 和子

川柳大賞

トリックに乾杯笑い合えるなら 熊本 阪本ちえこ

大会賞

だんだんと漢字になって薔薇は咲く 秋田 伊藤 徹

ゆっくりと渡りましょうかい天気 滋賀 笠川 嘉一

からくりを問うとほたるは光らない 秋田 大石 一粹

沢ガニも君もそーっと捕まえる 静岡 加藤 鯉

湯加減がぴったりこの人に決める 愛媛 田辺 進水

感覚のずれ日本語が通じない 大阪 吉道あかね

炎昼に駱駝の息をいとおしむ 福岡 小崎 国雄

摂氏四十わたしが溶けてゆく温度 鳥取 斉尾くにこ

マジックが終り搜索願い出す 東京 船岡 五郎

悠久の風とひとつになる駱駝 愛媛 田辺 進水

つばめ来る明日は僕の誕生日 千葉 日下部敦世

へ. ジュニアの部 受賞句 (各題秀句9句 計9句の中より選考)

鳥取県知事賞

さかあがりおなかのあざがくんしょうだ 山 口 明倫小学校2 田村 眞子

鳥取県教育長賞

あらわれよ日本を救う妖怪よ 大 阪 帝塚山学院泉が丘中学校3
山本 倭子

鳥取市教育長賞

飢えた子に分けてあげたいこのお菓子 神奈川 谷本中学校1 滝口 萌恵

全日本川柳協会会長賞

鬼太郎もこうさんするぞうちの母 広 島 玖波小4 鈴木 恵佑

医者になりみんなの笑顔守りたい 広 島 大竹小4 河村 絢汐

じきゅう走心の中もあせをかく 広 島 佐方小5 伊藤 瑞穂

教育新聞社賞

組体そうあせとなみだのピラミッド 広 島 大竹小5 山田 果歩

レシピなし母の料理に舌つづみ 愛 媛 豊岡小6 鈴木 藍花

ぬりかべにキーパーたのむ全勝だ 広 島 佐方小5 住田 美果

(2) 第25回国民文化祭・おかやま2010を共催

事前投句者 高校生・一般の部 3,193名

小・中学生の部 5,943名

当日参加者 870名

(3) 誌上大会(平成柳多留第15集)

参加者 1,768名

(4) NHK学園その他、全国柳社より申請を受けた大会の後援をした。

(5) 「教科書に川柳を」の運動については前年度に引き続き積極的にこれを推進した。

(6) 第3回川柳文学賞「違いに行く」河村啓子著を表彰